№306（4月号）

広報ひらつか

人口　199,722人
世帯　56,570世帯
（52年3月1日現在）

昭和52年4月15日／神奈川県平塚市役所発行／編集・企画室秘書広報課／
毎月15日／78,000部／全世帯配布（一部5円）／昭和31年10月3日

幾間町9番1号
電話（23）1111―代表

第三種郵便物認可　郵便○号254

よろこびの山口さんご一家に、記念品を手渡す加藤市長

四月四日、待望の二十万人目の市民が誕生しました。二十万人目の市民になりましたのは、董平二四―一二にお住いの山口隆司さん（三十歳）の長女敦子ちゃん（三月二十六日出生）です。父親の隆司さんは、「二十万人目に当るとは、まったくラッキーです。敦子にとってまたとないよい記念です」と、その喜びを語っていました。市では、去る七日加藤市長が、母親の美智子さん（二十九歳）が里帰りしている虹ケ浜の実家（竹内満さん宅）を訪れ、お祝い状と色紙、それに博多人形を記念品としてお贈りし、お祝いの言葉を述べました。敦子ちゃんを迎えて、名実共に二十万都市となり、核都市としての性格を強めた平塚市です。これを契機に行政の見直しも必要と、都市診断を行うべく準備に入りました。そこで今月はこの話題を追ってみました。

待望の20万都市へ

21世紀の平塚へ新しい都市づくり

二十万人目の市民、敦子ちゃんが立春式を迎えるとき、また成人式を迎える二十年後、平塚市はどうあるべきかを考えるのでしょうか。床下、床上浸水の家屋はなくなっているでしょうか、駐車場難は解消されているでしょうか、プレハブ校舎はなくなっているでしょうか、おとしよりの生活は、相模川は、平塚の顔は、駅前は、西部丘陵はどうか、矢継ぎ早に出てくるこれらの問題に、市の取り組み方を求められもいます。したがって、行政の原点を探ると申しましょうか、そうした気持で、この二十万人目の市民をお迎えし、新しい都市への躍出発の年として、誇いも新たにしたものです。

都市ドックで再出発を

そこで、今後の平塚の行政施策を立てるうえでの判断材料を、まずそろえるとし、五十二年度当初予算で、「都市ドック」予算を計上しました。県内の人口は、相模川以東にその八五％が集中しています。市街化の線引き状況から見ましても、以東は同地域一千六十四・四二二平方キロの六九・三％を、以西では同地域一千三百二十六・三八平方キロの一〇・七％が市街化区域といった具合に、極端な違いを示しています。国・県の計画が今後相模川以西に、どういうかたちで現われてくるのか、興味深いものがあります。したがって、平塚市としてもその態勢固めをしておきませんと、後追いになりかねません。そのための測材料を、より多く用意して「新平塚計画」の策定に臨まなければならないわけです。

角度をかえ資料あつめ

では、今年度すすめる都市総合診断、広域商業診断、市街地開発基礎調査について、ご紹介し、ご協力も得たいと思うものです。

魅力ある買い物の場づくり

まず、広域商業診断ですが、これは昭和四十年に行なった同診断に続く二回目のもので、この十年間の動きをとらえ、現状を分析し将来の方向を見定めるとするものです。

人口の増加と販売額とは相関関係にあるといわれ、比例した売上げ増加の数字を示しますから、その点では人口の増加は、喜ぶべきことといえます。しかしながら、より多くの人が集まり、商勢圏を広げ高めていくには、なお他の手立てを必要としています。市民生活の中では、商店を通してのコミュニティづくりも必要でしょうし、平塚が持つ商業特性（中心街区が整っている点）を生かしていくことも必要でしょう。また昭和三十九年と昭和五十一年の商業統計調査を対比（カッコ内は、39年を百とした指数）してみますと小売店舗一千五百八十四に対して、五十一年は二千三百五十三（百四十九）、同売場面積六万一千六百七十八平方メートルに対して、十二万八千四百四十四平方メートル（二百八）、同売上額百九十一億八千五百三十一万円に対して、一千百九十九億百九十五万円（五倍）といった具合いで、売上げでも倍近い数字を示しているようですが、これは、県内主要都市での伸び率と比べてみますと、けっしてよい数字とはいえないものです。次の時代に備えての商店街づくりには、ちみつな調査と心組みで臨まなければなりません。

中心市街地のあり方を追求

次に、市街地開発基礎調査ですが、これは平塚市が初めて行なう調査で、都市開発計画のうえから見た中心市街地のあり方を追求するものです。小田原市でも「駐車場基本計画を策定するうえでの都市診断」といったかたちで、同種の調査を行なっていますが、本市の場合、その調査範囲を駅前、銀座通り界わいなど、商業地域（九十ヘクタール）とその周辺に焦点をあてました。したがって、商業診断とからみも出てくるわけですが、角度をかえての調査をすることで、片寄りのないまちづくりへの道が開けることは確かです。

新平塚計画のデータを集積

三つ目の都市総合診断ですが、これはすでに策定されている平塚市総合開発計画の見直しも必要ということで行なわれるもので、この開発計画に定めてある四つの柱（都市基盤整備、生活環境整備、産業経済の振興、教育文化）と、全市的な視野からの考察、社会情勢の大きな変化に対応する施策などを中心として、「新平塚計画」ともいうべきものを策定するうえでの資料を求めるものです。具体的な事例としましては、公共用地の確保の問題、交通体系の問題、西部丘陵地帯の開発問題なども含まれてきます。

この三つの診断は、いずれも専門家に委託して行なわれますが、新しい都市への出発資料、まちづくりの基礎資料を集積するという点では同じですから、関連をもたせながら調査をすすめることにしています。

今月の話題　市長の豆小判　―12―

がんばる工業二世会

中小企業の次期経営者グループに、二世会がある。今月は、市政モニターの広瀬勉さん（50歳）に、その活動の様子を取材していただいた。

県平塚商工事務所のアドバイスもうけながら月例会テーマの資料を検討する幹事さん

経済の先行きに若干の不安を投げかけ始めていた昭和四十七年の春、「このままでは俺たちのあしたはなくなる」と、中小企業主の二世たちが集まって、仲間づくりを始めた。平塚市工業研究会青年部、俗称「二世会」の誕生である。仕事は進っていても、経営の立場から共通の話題を絡し合える仲間がほしいと思っていた人たちが呼応して集まった。現在、会員二十八人、独身者も含めて平均年齢三十歳の働き盛りである。

父親である社長からとばっちり使い走りからマネージまで、まなことに広い分野を抱え込み、こなしていかなければならない面々である。やはり息抜きの場、心の寄りどころもほしいということである。ある会員は、「親父の集団から割り出した経営方針に、二本筋の通ったものは感じるが、どうも何かが欠けている。その何かをつかみたい。入会して幾つかのヒントも得たし同じ悩みを持つ仲間が多くいることもわかった」という。代表幹事である川晃生さんは、「生産一場を持つ連中である。生ぬるいことをしていては仲間が去っていく。貴重な時間を費やすに足る会合にしなければならないから、大変といえば大変」といい、「ともかく、体の忙しい連中である。瞬間、瞬間で条件が変わってしまうから、予定していても中々思いどおりにはならない」とつけ加える。周囲の条件を考え合わせると、出席できるのが不思議なくらいと口をそろえていう。

例会は、テーマを決めて聞くとしているが、ときには自社の問題点を自分なりに研究し発表して、仲間の意見を求めているのもユニークな運営のひとつである。「手きびしい仲間の意見に、がっくりもし、もう行くものかと思うのだが、また足をはこんでしまう」という。この会も五年目を迎えている。市内に同規模の工場が六百五十ほどある。独りで悩まず、若者同志で分け合おうと、参加を呼びかけるという。問題意識を持った二世たちの集まりに、多くの期待をかけるものである。

新しい平塚の建設へ

昭和52年度の予算

総額四百四十五億円

四つの基本施策を根幹に

三月に開催された平塚市議会定例会において、昭和五十二年度の予算が決まった。この予算は、一般会計が百九十億八千万円、競輪事業や下水道事業などの特別会計が二百十三億四千二百七十二万円、市民病院を経営するための病院事業会計が三十一億一千五百六十二万円で、合わせて四百四十五億三千八百三十三万円となった。予算編成にあたっては、総合開発計画の四つの基本施策を柱に、所要額をできる限り当初予算に計上し、諸事業の早期執行をはかることとしている。また、五十二年度は、加藤市政にとって三年目を迎える年にあり、市長は「二十万都市を迎えた五十二年度は、この年を飛躍のためにも思い切った発想の転換の年と考え、三つの調査委託費を計上しました。」と意欲的に語っている。それでは、ここに本年度の予算と編成された主な内容を紹介しよう。

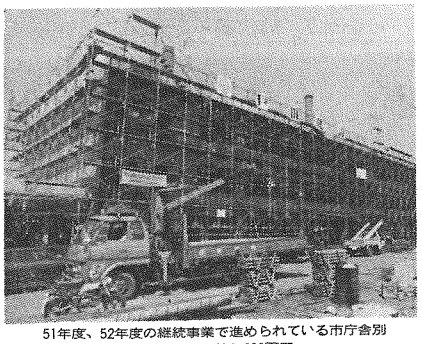
予算のあらまし

本市の財政運営については、昭和五十一年度が安定成長経済下だったにもかかわらず、市税収入の緩やかな回復と競輪事業収入等に支えられ、住民福祉向上のための積極的な施策を推進することができたが、この反面、公債費の増高は、著しくなっている。

このような情勢の中で、五十二年度の予算編成にあたっては、総合開発計画による四つの基本施策を行政指標の根幹として、年度間の行政需要を見通し、いずれも重点を置くべきものを選択しました。そして、一般行政経費については引き続き抑制のうえ、機動的、弾力的な行政運営ができるよう配慮して、所要額をできる限り当初予算に計上し、事業の早期執行をはかることにした。

また、新しい平塚市総合開発計画の立案にあたり、「住みよい、豊かな、活力ある街」にするにはどうあるべきかを模討するため、都市総合診断委託、市街地開発基礎調査委託および広域商業総合診断委託をすることになっている。

それでは、総合開発計画の四本の柱にしたがって、五十二年度予算のあらすじについて、投資的経費を中心に紹介しよう。



51年度、52年度の継続事業で進められている市庁舎別館新増築工事…総工事費4億6,300万円

人づくり　教育文化の向上

▽小学校整備事業　九億四百四十四万円
　なかしま小校舎新築（51・52年度継続事業）　岡崎小校舎新増築、真土小校舎および諸営業屋内運動場新増築、金目小講堂兼屋内運動場新改築、その他
▽中学校整備事業　五億二千六百七十二万円
▽幼稚園就園奨励補助事業　八千四百三十六万円
▽公民館整備事業　四千五百四十五万円
　南原公民館用地買収、その他
▽体育施設整備事業　五千四百十四万円
　市民スポーツ広場整備、軟式庭球場改修、その他
▽青少年健全育成施設整備事業　一千百九十五万円
　七国荏改修事業（兼青少年宿泊施設）、ちびっ子広場新設（3か所）

住みよい街　生活環境整備

▽公営住宅建設事業　二億九千三百七十二万円
　龍城ヶ丘住宅の中層耐火五階建て二棟六十戸
▽公園整備事業　七千二百六十万円
　四十瀬川公園整備、須賀公園整備、その他
▽消防施設整備事業　六千八百九十万円
　神田出張所増築（車庫）、消防井戸新設（10基）、大型消火器購入（二千本）、その他
▽防災対策事業　五百十七万円
　簡易無線機、ろ水機購入

活力ある街　産業経済の振興

▽畜産振興事業　二千八百二十八万円
　山城中講堂兼屋内運動場新築および屋内プール新設事業、土沢中拡張校地整備、神田中校舎増改、仮称大野東中校舎新築（開発公社により別途施工）
▽商工業振興事業　七千二百十万円
　市街地開発基礎調査、商業振興、農道改良、岡田川沿岸排水路改修、その他
▽広域商業診断委託料　五百五十八万円
▽都市下水路整備事業　一億四千八百二万円
▽市街地開発基礎調査委託料　四百七十一万円
▽土地改良事業　九千百二万円
　かんがい排水路改良、商、農道改良、岡田川沿岸排水路改修、その他
▽排水路整備事業　三億二千六十万円
　浸水対策排水路整備を含む
▽街路事業　三億六千七十四万円
▽都市下水路整備事業　一億四千八百二万円
▽市街地開発基礎調査委託料　四百三十三万円

秩序ある街　都市基盤整備

▽都市改造事業　十一億六千五百七十七万円（特別会計）
▽公共下水道整備事業　二千五億六十二万円（特別会計）
　第三期事業認可変更計画委託料含む
▽道路新設改良事業　四億三千百二十四万円
▽橋りょう新設改良事業　二千四百五十万円
▽都市総合診断委託料　一千万円
▽庁舎等整備事業　三億三千二百二十八万円
　市庁舎別館新増築（51・52継続事業）、市庁舎庭園植栽

市の行財政

▽公営住宅建設事業　二億二千百十二万円
　市営住宅建設（51・52継続事業）、市営住宅建設（単独事業）
▽公園整備事業　二億二千百十二万円
　市立幼稚園の設置および管理等に関する条例の一部を改正
　昨年新町に「新町歌式野球場」が開設されので、須賀公園野球場を廃止して、本来の庭球公園に整備するため、体育施設から削除したもの。
　【市道路線の認定について】
　建設省と折衝を重ねていた国道一号線の平塚への移管問題がようやく実現のはこびとなったため、市道として認定するもの。名称は東海道本通り線という。また、これに関連して、現在の二九号線の一部も駅前大通り線とする。
▽総務部管財課土地開発公社担当主幹兼開発公社担当主幹　井上友久（霊園建設管理事務所長）
▽総務部管財課土地開発公社事務担当主幹兼開発公社事務担当主幹　佐摩安雄（霊園建設事務担当主幹兼事務係長）
▽環境部環境衛生課課長補佐　石塚基（博物館副館長）
▽都市開発部計画課課長補佐兼開発係長　加藤祐治（施設課課長補佐）
▽都市開発部事務課長　一宮周蔵（移転課長）
▽契約調整室指名指名担当主幹　高橋正（環境衛生課課長補佐）
▽教育委員会管理部総務課長　高梨光一（施設課長）
▽教育委員会管理部施設課長　佐藤嘉信（会計課長）
▽博物館副館長　柳田林蔵（福祉課長）
▽福祉部福祉課長　二宮京二（土地開発公社担当主幹兼開発公社担当主幹）
▽退職
▽佐草郁司（農業委員会事務局長）
▽関野政治（水管課長補佐）十八樽小学校教頭に就任

七十二万円
▽公園整備事業　七千二百六十万円
　四十瀬川公園整備、須賀公園整備、その他
▽消防施設整備事業　六千八百九十万円
　神田出張所増築（車庫）、消防井戸新設（10基）、大型消火器購入（二千本）、その他
▽防災対策事業　五百十七万円
　簡易無線機、ろ水機購入

秩序ある街　都市基盤整備

▽都市改造事業　十一億六千五百七十七万円（特別会計）
▽公共下水道整備事業　二千五億六十二万円（特別会計）
　第三期事業認可変更計画委託料含む
▽道路新設改良事業　四億三千百二十四万円
▽橋りょう新設改良事業　二千四百五十万円
▽都市総合診断委託料　一千万円
▽庁舎等整備事業　三億三千二百二十八万円
　市庁舎別館新増築（51・52継続事業）、市庁舎庭園植栽
▽公園整備事業　二億二千百十二万円
　市立幼稚園の設置および管理等に関する条例の一部を改正
　昨年新町に「新町歌式野球場」が開設されので、須賀公園野球場を廃止して、本来の庭球公園に整備するため、体育施設から削除したもの。
　【市道路線の認定について】
　建設省と折衝を重ねていた国道一号線の平塚への移管問題がようやく実現のはこびとなったため、市道として認定するもの。名称は東海道本通り線という。また、これに関連して、現在の二九号線の一部も駅前大通り線とする。
▽総務部管財課土地開発公社担当主幹兼開発公社担当主幹　井上友久（霊園建設管理事務所長）
▽総務部管財課土地開発公社事務担当主幹兼開発公社事務担当主幹　佐摩安雄（霊園建設事務担当主幹兼事務係長）
▽環境部環境衛生課課長補佐　石塚基（博物館副館長）
▽都市開発部計画課課長補佐兼開発係長　加藤祐治（施設課課長補佐）
▽都市開発部事務課長　一宮周蔵（移転課長）
▽契約調整室指名指名担当主幹　高橋正（環境衛生課課長補佐）
▽教育委員会管理部総務課長　高梨光一（施設課長）
▽教育委員会管理部施設課長　佐藤嘉信（会計課長）
▽博物館副館長　柳田林蔵（福祉課長）
▽福祉部福祉課長　二宮京二（土地開発公社担当主幹兼開発公社担当主幹）
▽退職
▽佐草郁司（農業委員会事務局長）
▽関野政治（水管課長補佐）十八樽小学校教頭に就任

昭和51年度予算　四億五千万円を補正

今回の補正予算は、一般会計が二億三千九百九十三万円、特別会計が五千六百十七万円、病院事業会計が一億六千三百万円で、総額四億五千九百十万円の補正予算となった。

したがって、昭和五十一年度の予算規模は、一般会計が二百十五億五千八百八十万円で、特別会計が二百五十七億六千五百十七万円、病院事業会計が三十一億五千五百九十二万円で、予算総額は五百四億七千九百九十万円となった。

今回の一般会計補正予算の主なものは、衛生費の一億六千三百万円である。これは五十年度に土地開発公社が取得した、市民病院拡張用地買収費の五十二年度以降の残金を繰上げ償還するために、病院事業会計へ出資措置をしたもの。

その他、労働費では必要な経費の追加を行っている。

特別会計については、国民健康保険事業の療養給付費国庫負担金の追加や、都市改造事業の国庫補助などの決定に伴い、所要の追加を行ったもの。

見舞金の引き上げ

【交通災害共済条例の一部改正】

交通災害共済の見舞金の額を五月一日から、一等級が五十万円から七十万円に、二等級が十五万円から十八万円に、三等級が十万円から十二万円に、四等級が五万円から六万円にそれぞれ引き上げられる。

【国民健康保険条例の一部改正】

国民健康保険税第五十八条の規定に基づき、任意給付を行っている葬祭費および葬祭費について国の補助基準額が五十年から引き上げられたことに伴い、県下各市の状況も勘案し、四月一日から助葬費を二万円から四万円に、葬祭費は一万円から二万円に引き上げた。

【国民健康保険税条例の一部改正】

国民健康保険税は、五十一年度にも税率改正をして増税したが、五十一年四月の医療費改正と高度医療、高額療養費、老人医療費等の増高が大きく、五十二年度も独立採算性を考慮して前とする国民健康保険事業特別会計は、大幅な歳入不足が見込まれていたが、所得割、資産割、均等割、平等割の税率を引き上げたもの。

都市開発部長に林氏

四月一日付で人事発令

四月一日付で人事異動が行われ、福祉部長に小西琴氏、環境部長に中村啓一郎氏、建設部長に米山武男氏が就任、都市開発部長には林昇企画調整課長が昇格した。

また、新たに設けられた公営事業担当参事には、豊原稔氏が就任した。

◇昇格（部長級）
▽都市開発部長兼霊園建設管理事務所長　林昇（企画室企画調整課長）
◇異動（部長級）
▽公営事業担当参事　豊原稔（建設部長）
▽福祉部長兼福祉事務所長　小西琴（環境部長）
▽環境部長　中村啓一郎（福祉部長）
▽建設部長　米山武男（都市開発部長）
◇昇格（課長級）
▽企画室企画調整課長補佐　小川光男（市民税課税制係長）
▽総務部行政調査室主幹　石原豪（企画調整課総合企画調整担当主幹）
▽市民部生活課市民相談担当主幹　武井九三（福祉会館館長代理）
▽建設部道路建設課舗装係長　石田昇（道路建設課舗装係長）
▽都市開発部移転課長　内田誠一（移転課移転第一係長）
▽会計課長　門松真次（職員課職員担当主査）
▽農業委員会事務局長　香田義光（農業委員会農地係長）
▽企画室企画調整課長　富田孔久
▽福祉部長兼福祉事務所長　小西琴（秘書広報課長）
▽企画室秘書広報課長　剛本悠太郎（総務課長）

林昇都市開発部長

【市立幼稚園の保育料等の徴収に関する条例の一部を改正】

市立幼稚園の入園料と保育料については、五十一年度において引きとけたが、近年の諸物価の高騰により市立幼稚園にかかる経費は年々増大し、また、私立幼稚園との格差も依然として大きい。このため、各市の状況も考えて、市立幼稚園の入園料を五百円から一千円に、保育料を年額二万四千円から四万二千円に引き上げた。

【体育施設の設置および管理等に関する条例の一部を改正】

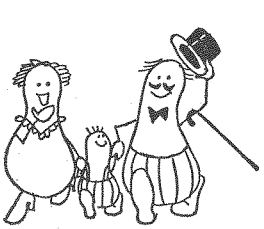
市民相談……お気軽にご利用ください

市民相談室／市役所 ☎(23) 1111

一般法律相談・5月10日（火曜日）・13時～16時　人数に制限がある
人権法律相談・5月7日（土曜日）・13時～16時
行政苦情相談・5月7日（土曜日）・13時～16時
登記相談・5月13日（金曜日）・13時～16時
宅地建物相談・4月26日（火曜日）・13時～16時　人数に制限がある
発明考案（特許）相談・5月9日（月曜日）・10時～15時
下請取引巡回あっせん・4月21日（木曜日）・13時～16時
消費生活相談・毎週水曜日・10時～15時
青少年相談・平日、9時～16時・常設（青少年課）
◆交通事故相談　毎週月曜日・10時～16時　場所交通安全協会内

教育研究所相談室☎(31) 6850

教育相談・月曜日～金曜日・9時～15時



※受付は相談開始時間から

県民相談室／湘南地区行政センター ☎(22) 2711

◇法律相談　毎月第2第3金曜日　13時～16時（受付8時半、電話でも可）その他、毎月教育相談、交通事故相談、内職相談、高齢者職業相談を行っています。
◇県市合同相談　4月22日　13時～18時　平塚駅北口交番前（相談は法律相談、教育相談・交通事故相談、県政、市政一般相談など）

福祉会館内相談室☎(33) 2333

心配ごと相談・毎週月曜日（第5を除く）13時～15時
母子相談・平日、9時～15時30分・常設
家庭児童相談・平日、9時～16時・常設
高齢者職業相談・平日9時30分～16時・常設
結婚相談・毎週日曜日10時～16時

緑と花の祭り

4月29日～5月1日

さあ家族で行こう

公園緑地課では、失われゆく自然と緑を回復させ、緑化事業の最大の行事である「緑化まつり」を、ゴールデンウイークの前半を利用して、四月二十九日から五月一日まで八幡山公園で開くことになった。家族そろって参加しよう。

今回で四回目を迎える緑化まつりは、年々盛況になっており、昨年三日間で三万人の人出があったが、今年は祭日（29日）、土曜日（30日）、日曜日（5月1日）と続くため、昨年をはるかにしのぐことが予想されている。

このため、公園緑地課では、好評を博している苗木の無料配布や植木市、緑化相談等などを充実させ、新たに黒土の配布や寄贈苗木の配布を予定している。

特に、無料苗木の配布は、公園緑地課が心を込めており『緑を一人でも多くの方に受け取っていただき、緑を大事に育ててもらおう』と、ツツジ、サツキ、ツバキ、クチナシ、ツゲ、黒松等樹種を多くそろえて、希望にこたえるようにしており、庭のない団地の方々にはナデシコやサルビア等鉢物を用意している。そして、配布する苗木や花の種は、すべて平塚の気候に合った市の推奨木、推奨花に限定されており、平塚市で生産されたものである。

また、前回まで市役所前広場に展示していた造園業者の花壇展示は、緑化まつりの中央広場に会場が移され、みなさんの目を楽しませることになった。

今年から行われる黒土の配布はこの花壇展示や機能花壇をとおず

緑化まつり行事

◇植木市（9時～18時）3日間
全国各地から約120店が出店、特に、静岡県の浜北市や埼玉県の安行市からも出店する。

◇緑化相談室（10時～1時）3日間
県から専門講師を招いて、植木や花木類の手入れ、病害虫の防ぎ方などに疑問を持っていられる方に指導助言を行う。

◇模範花壇（9時～18時）3日間
県立平塚農業高校の生徒による模範花壇を会場内に設置して、市民のみなさんの目を楽しませる。

◇花壇展示（9時～18時）3日間
湘南地区造園業者に依頼して、会場の中央広場に花壇を展示、市民に鑑賞してもらう。

◇緑化募金（9時～17時）3日間
会場内に募金箱を設置する。この機会に緑の意義の徹底を図る。また、茶屋を開き売り上げの一部を募金にあてる。

◇緑化表彰（13時30分～14時）4月30日
会場の中央広場で、昭和51年度の緑化優良団体、緑化標語入選者、緑化ポスター入選者の表彰式を行う。

◇草花・鉢物即売（9時～18時）3日間
園芸協会や花商組合による草花等の即売。

◇黒土配布（10時～12時）4月29日、5月1日　鉢物と草花用にポリバケツ一杯の黒土を配布。500人分用意してあるが、先着順なのでなるべく早めにお出かけを。なお、入れ物は用意してくる。

◇寄贈苗木配布（10時～11時）4月30日
市民から寄贈された黒松236本、サルスベリ100本を先着順でさし上げる。なお、これは無料ではないので引き換え券はいらない。

◇植木セリ市（15時～1時）5月1日
植木市に出店している業者が持ち寄り、セリ市を開く。売り上げは募金へ。

◇樂箱づくり教室（10時～1時）4月29日、4月30日、5月1日　ロータリークラブ主催で児童、生徒を対象に野鳥を招やす巣箱づくり教室。

苗木の無料配布の申し込み20日まで

苗木の無料配布の応募方法は、花復はがきを使用して遠信用に住所、氏名を記入し、〒259平塚市へ。（当日消印有効）

緑化優良団体の表彰

昭和五十二年度の緑化モデル団体が、このほど決定した。

これは、広く緑を愛し、進んで緑化に奉仕している団体を、緑化モデル団体として表彰しているもので、今年で四回目。表彰された団体は次のとおり。

▽平塚ステーションビル株式会社
▽ダイ鳴ケ丘自治会
▽高砂書料二株式会社平塚工場
▽住友重機械工業株式会社平塚研究所
▽金目小学校
▽浜岳中学校
▽平塚駅
▽日本勧業角丸証券平塚支店
▽山田屋敷地区

このほか二日目には、緑化優良団体の表彰、緑化標語の入選者、緑化ポスターの表彰も行われる。

さて、緑化まつりの中で最も人気のある苗木の無料配布は、現在募集中で、締め切りも近づいてきたので希望される方は、早く申し込んでいただきたい。三月三十一日現在で、五千人の応募者がある。

ときに、近所の人たちが土を分けてほしいと希望が多かったため、これからヒント等得て、今回からポリバケツ一杯すつ、黒土を無料で配布することになったもの。

緑化標語入選者決まる

昭和五十一年度の緑化標語募集の入選者が、このほど決まった。

今回は、二千三百四十点という多数の応募者があり、その中からテーマである植樹意欲が盛りあがるものや、緑の推進ならびに保全意識が高まるものを、厳選して次のとおり十点選んだ。

なお、入賞された方々の表彰式は緑化まつりに行われる。

【緑化標語入選作品】敬称略

▽最優秀賞　一本の植樹で築く市の明日　栗原茂（秦野市　教員）
▽優秀賞　一つの芽大事にしよう大樹まで　猪民敏雄（金沢町）
▽優秀賞　広げようみんなの笑顔と緑の輪　岡田清里子（大住中）
▽優良賞
・木を植えて緑豊かな街づくり　神保正樹（達上ケ丘1－1）
・子や孫に残す緑の町づくり　根岸春子（馬入二六二七）
・自然の恵みを素直にうけて育つ緑は市の宝　笠野欣二（松風町10－2）
・緑ある豊かなくらしをわが町に　岡田優（浜谷中）
・平塚にみんなで作ろう緑の歴史　藤間一弘（幸十見小）
・わずかでも植えよう緑を家庭から　渕岡晴久（八幡小）
・ぼくらの町を緑でかこもう花咲かそう　五十嵐幹雄（潮風小）

緑化協力団体に登録を

公園緑地課では、地域ぐるみで進んで周辺の緑化に協力している団体に、平塚市緑化協力団体として登録するよう呼びかけている。

登録すると、その緑化協力団体には、優先的に無償で苗木を配布したり、病害虫の防除指導などに協力することになっている。

登録を希望される団体は、次の書類を添えて公園緑地課へ申請をしてください。

◇提出書類　①申請書（市役所にある）②事業計画書　③役員構成表　④会員名簿　⑤図面

苗木の寄贈

緑化まつりに配布

先日、岡崎の田代園芸の田代芳光氏からサルスベリ百本が寄贈された。寄贈された苗木は、本人の希望もあり、緑化まつりの四月三十日午前10時から12時まで、会場内で先着順に配布することになった。

◉松の苗木が寄贈

中原の高梨二郎さんから松の苗木二百三十六本が寄贈された。この苗木は、緑化まつりの二日目、四月三十日午前10時から配布されたが、たちまち無くなりしだい配布を打ち切る。

園芸教室開く

早めに申し込みを

公園緑地課では、春季緑化月間の事業として、緑化教室を開くことになった。希望される方は、早めに申し込みを。

▽日時　5月20日（金）午前9時30分から12時まで。
▽場所　博物館講堂
▽申し込み　官製はがき住所、氏名を記入し、〒259　幸町九一一　市公園緑地課へ申し込む。

優秀賞に鍋屋商店

店舗コンクール入賞決まる

昭和五十一年度の店舗コンクールは二月二十日行われ、A部門では鍋屋商店、B部門では大友屋、C部門では喫茶アラゴスタがそれぞれ優秀賞に輝いた。

この店舗コンクールは、清潔な街、楽しい商店街、そして明るい個性あるお店、こんなイメージの店をつくっていただこと開かれているもので、審査員も店舗（個性、機能性、衛生等）、商品陳列照明色彩、消費者サービス、装飾宣伝と多種に渡って厳しく審査されている。

今回入賞された店舗は次のとおり。

【A部門】
▽優秀賞　有限会社鍋屋商店　升水寿恵子（紅谷町）
▽優良賞　ハイファッションサンローブ　小浜玲子（紅谷町）
▽佳良賞　有限会社ホーエイ商事「ピノキオ」福田日出登（紅谷町）
▽佳良賞　レストランオリーブ　落合芳夫（田村）、梅三容　境忠俊（田村）

【B部門】
▽優秀賞　大友屋　関田ハナ（宮松町）
▽優良賞　鈴木酒店　鈴木博（立野町）
▽佳良賞　天沼四店　天沼靖事（花水台）、有限会社寿屋　佐野公美（真土）

【C部門】
▽優秀賞　喫茶アラゴスタ　吉川曉子（紅谷町）
▽優良賞　ラ・フレッシュ資生堂美容室　河野強雄（紅谷町）
▽佳良賞　レストランオリーブ　落合芳夫（田村）、梅三容　境忠俊（田村）

【A部門】鍋屋商店

【B部門】大友屋

【C部門】喫茶アラゴスタ

市長からの手紙 ＞15＜

このところ、私の口から「折り返し点」という言葉がよく出るようです。市長の任期は四年ですから今月でちょうど任期の半ばを迎えることになります。

マラソンでいえば折り返し点にあたり、これからいよいよ後半の力走に入るわけです。

かつて陸上競技の選手であったせいか、任期をマラソンにたとえ、全行程の半分のところに来たという意味で、なぐ何気なく「折り返し点」という言葉を口にしていたのです。

しかし、考えてみると、折り返しという表現はあまり適切でないような気がします。折り返しという言葉の示すとおり、一度走ってきた道をそのまま逆戻りして、しまいには出発点に戻ってしまうからです。

市の政治や行政が、ある地点まで前進すると、そこから逆戻りしてしまうのでは困ります。

政治や行政は、常に前を向き、絶えずよりよい方向に向って進まなければなりません。そしてまたなければなりません。どうしたらよいかと考えてみますと、任期の半ばは「折り返し点」ではなく「中間点」というべきではないかと、いま反省しているところです。

この二年間、市長としての私は、従来からの引き継ぎ事項の処理や懸案事項の解決に精力の

独り綿りあげてきました。そして、これを明らかにする時期をたことから考えてみますと、任期の中間点においたのです。

去る三月定例市議会の冒頭、「施政方針」という形で明らかにしたのがそれです。

「協調と決断」
「発想の転換」
「市民意識の自覚と高揚」
「市民と市長との共同作品」
……

いくつかの柱を立て、広く市民の共感を得ようとしたのです。

聞くところによると、市長が自らの理念を施政方針に盛りこむため、自らの手で起草するという例は全国的にもまれだそうです。草稿は事務局に委せ、市長はこれに眼を通し、一部に手を加えるのが慣例的なやり方だとされています。今回、あえてこの慣例を無視し、自ら起草したのは、中間点通過後の全力疾走の決意を私流に表明すべきだと考えたからに外なりません。

加藤孫吉

市長からの手紙

中間点を過ぎようとして

戻りして、しまいには出発点に戻ってしまうからです。

市の政治や行政が、ある地点まで前進すると、そこから逆戻りしてしまうのでは困ります。

政治や行政は、常に前を向き、絶えずよりよい方向に向って進まなければなりません。どうしたらよいかと考えてみますと、任期の半ばは「折り返し点」ではなく「中間点」というべきではないかと、いま反省しているところです。

この二年間、市長としての私は、従来からの引き継ぎ事項の処理や懸案事項の解決に精力の

独り綿りあげてきました。そして、これを明らかにする時期をたことから考えてみますと、任期の中間点においたのです。

去る三月定例市議会の冒頭、「施政方針」という形で明らかにしたのがそれです。

「協調と決断」
「発想の転換」
「市民意識の自覚と高揚」
「市民と市長との共同作品」
……

いくつかの柱を立て、広く市民の共感を得ようとしたのです。

聞くところによると、市長が自らの理念を施政方針に盛りこむため、自らの手で起草するという例は全国的にもまれだそうです。草稿は事務局に委せ、市長はこれに眼を通し、一部に手を加えるのが慣例的なやり方だとされています。今回、あえてこの慣例を無視し、自ら起草したのは、中間点通過後の全力疾走の決意を私流に表明すべきだと考えたからに外なりません。

加藤孫吉

印鑑登録の切り替えを

なるべく指定された月に

印鑑登録制度が変わり、印鑑登録証を交付しているので、印鑑を持参して申請をしてください。

【手続きの日程】

4月	大住中学校区域	7月	浜岳中学校区域
5月	中原中学校区域	8月	江陽中学校区域
6月	神田中学校区域	9月	太洋中学校区域

※土曜日は大変混み合い時間がかかるので、ほかの日に手続きを

みんなの市長室

市長と語ろう

◇ 4月の日程

☆4月16日（土）旭公民館
※午後1時30分から3時30分まで

☆4月23日（土）岡崎公民館
※午後2時から4時まで

投票区域が変わる

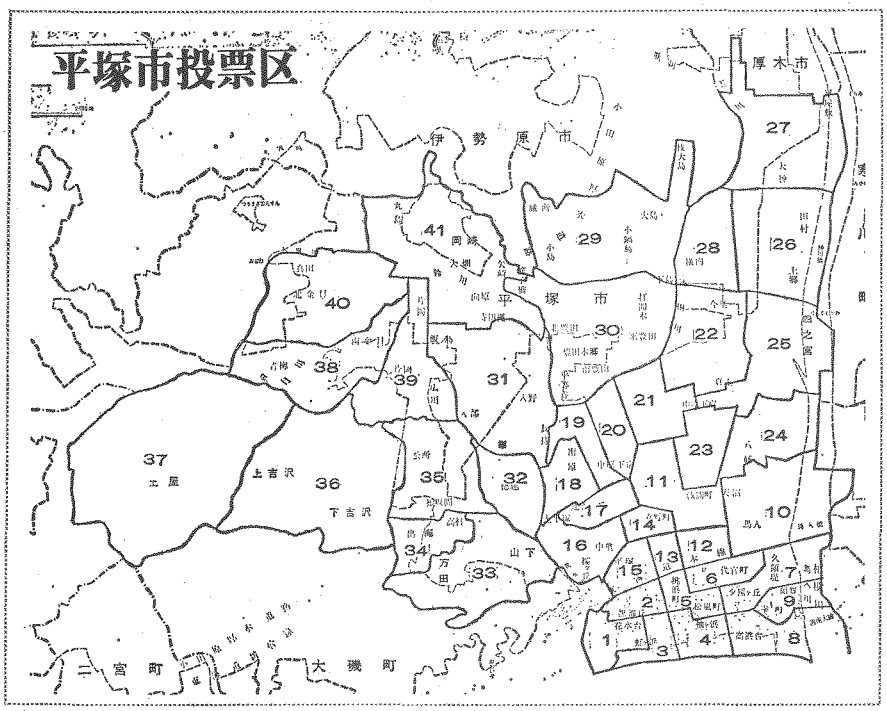
大字別、町割り別に整理

平塚市選挙管理委員会では、有権者が多すぎる投票所や、投票所まで距離が遠すぎるなど問題が出てきたため、投票所の区割りの修正を検討していたが、最終案が決まったので公表する。

今回の区割りにあたっては、まず、投票所の名称を全市にわたって統一するとともに、有権者と区の投票区に入るかわかりやすくするため、大字別、町割り別に整理した。また、旭小学校（七千四百六十八）や中原小学校（七千百九十二人）のように大型投票所は、分割して投票所を設置し、各投票区の有権者数の均衡（並均三千二百九十七人）を図った。

しかし、松風町のように同じ町内で四か所に投票所が分かれていたのを、桃浜町と合わせて一投票区に集約したため、投票所が花水公民館となり、一部の家庭によっては投票所が遠くなるケースも生じた。これらについては、今後『近くに公共施設ができた時点で、検討サービスにつとめたい』と事務局ではいっている。

なお、この投票区は、十月に予定されている参院選から実施される予定だが、これから投票場所が一部変わる地区もあるので、選挙の際は、投票所入場整理券に書いてある投票場所にしたがっていただきたい。



投票所一覧表

投票区	投票所
1	花水台母子寮
2	平塚工業高校
3	花水会館
4	花水小学校
5	花水公民館
6	県立農業会館
7	須賀公民館
8	須賀保育園
9	港小学校
10	松原公民館
11	市役所
12	市民センター
13	見附台体育館
14	血液センター
15	桃町保育園
16	春日野中学校
17	平塚高等看護学院
18	南原公民館
19	ひばり幼稚園
20	中原小学校
21	大野中学校
22	大野公民館
23	農協八幡出張所
24	八幡小学校
25	大野小学校
26	神田公民館
27	大野集会場
28	横内団地集会場
29	城島公民館
30	豊田公民館
31	金田公民館
32	旭公民館
33	山城中学
34	勝原小学校
35	旭小学校
36	吉沢公民館
37	土屋公民館
38	金目小学校
39	金目公民館
40	金目保育園
41	岡崎公民館

国民年金

保険料を忘れずに

五十一年度の国民年金の保険料をまだ納めていない方、また、納めるのを忘れている方は、すぐ納付書によって最寄りの金融機関へ払い込んでいただきたい。なお、五月以降は、お手元の納付書では納められない。

一か月に二千二百円

五十二年度の保険料が一か月につき二千二百円に改正された。保険料の納付書は、例年どおり五月初旬に被保険者の方へお届けするので、もうしばらくお待ちを。

届け出が必要な人

次の場合は、保険年金課年金係へ必ず届け出ていただきたい。

①加入する人：二十歳になった人または会社をやめた人。
②脱退する人：会社や工場に勤めることになった人。
③任意加入を希望する人：会社員の奥さんなどで、任意加入を希望する人。
④住所や氏名を変更した人：新しく転入された人や結婚などで氏名が変わった人。
⑤死亡した人：加入者死亡。
※届け出するときは、年金手帳と印鑑を持参する。

国民健康保険

者証の検認を

保険年金課では、三月二十一日まで国民健康保険被保険者証の検認を行ったが、まだ検認を受けていない方が大分おられる。

この検認を受けないと、四月から診療が受けられないので、まだ受けていない人は、すぐ、保険年金課の窓口（六番）にきて、検認をすませてほしい。

なお、まる学、まる母の国民健康保険被保険者証を、お持ちの方も忘れずに検認を。

処理開始区域広がる

公共下水道五月一日から

昭和五十一年度の公共下水道工事が完成し、五月一日から処理開始されることになった。

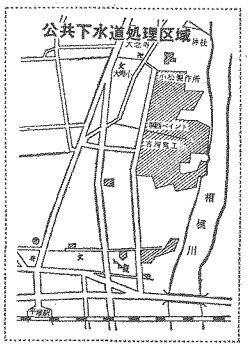
【処理開始となる区域】

袖ケ浜、天沼、中里、馬入、長瀬、東八幡一丁目、東八幡五丁目、八幡、四之宮、田村の各一部（略図を参照）

処理開始となる区域のみなさんは、排水設備（台所、ふろ場の汚水排水設備等）は一年以内に、くみ取り便所は三年以内に水洗便所に改造するよう義務づけられているので、早めに改造を。

改造工事費については、助成金制度（自家自住）と貸し付けあっせん制度（自家自住、貸し家、アパート）があるので活用を。

※詳しいことは、下水道課業務係普及係（電話23・二二二）へ。



ごみ資源買います

ごみの減量と資源の再利用

市では、ごみの減量と資源の回収を目的に、資源ごみの買い上げを実施することになった。

これは、古新聞、古雑誌、鉄くず、空きビン、空きかん等を再生可能な"資源ごみ"の回収を促進するため、市が年間を通して買い取る基準価格を決めて買い上げるもの。

現在、家庭から出るごみの量は年間約五万八千トン。四十六年の収集車をフルに動かしても、なかなか追いつけないのが現状。

また、古新聞や空きびんなどは町内会や、PTAなどでまとめ、回収業者に買い上げてもらっているところもすでにあるが、価格変動が激しく、仲々手にいかないのが悩みのタネだった。

そこで、市が一定の価格を決めて保証し、市民のみなさんと回収業者、市が一体となって、資源の再利用とごみの減量に取り組み、ぜひ協力していただきたい。

なお、回収の方法は、自治会、PTA、子供会、婦人会などが自時を定めて適当な場所に集積し、実施予定日の一週間前までに市に連絡すると、市から業者へ連絡し計量の上、引き取ることになる。

ただし、個人では一切あつかわないのでお間違いのないように。

・連絡先　環境衛生課　電話23・二二二内線三九・二四〇

くみ取り20日に一回

確認カードは必ずつるす

一般家庭のし尿くみ取りが、四月から二十日に一回のくみ取りに変わった。

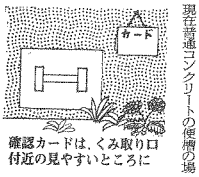
今まで家族が三人以下の世帯は、月に一回のくみ取り、四人以上の世帯は月に二回のくみ取りを行ってきたが、全世帯二十日に一回のくみ取りに改められた。

したがって、三人以下の世帯は今までよりくみ取りが十日早くなり、四人以上の世帯が五日延びることになった。この結果、くみ取りが五日延びる四人以上の家庭では、便槽の心配をされると思うが、現在普通コンクリートの便槽の場合、最小で三五〇㍑、普通三六〇㍑のものが一番多く使われており、一人一日の排出量が約一・四㍑なので、七人家族で計算しても一九六㍑となり、最小の便槽三五〇㍑の便槽で十分間に合う。

また、表の"かめ"の便槽で、八人以上使用しているときは、臨時の申し込みをすれば、定期のくみ取りのほかに臨時くみ取りをすることができる。臨時くみ取り手数料は一回百六十円。

今までの「し尿くみ取り伝票」を改めて、「し尿くみ取り確認カード」にしたので、作業の確認ができるようになった。くみ取り口付近に必ず、つるしておいていただきたい。なお、確認カードには、各自住所氏名を記入してほしい。

※し尿の窓口は環境衛生課業務係二係（電話23・二二二）



臨時のごみ収集

とき　5月3日（火）憲法記念日

環境衛生課では、4月下旬から5月上旬にかけて飛石連休となるため、今回特別に5月3日火曜日のごみ収集区域だけ収集します。

ただし、燃えないごみについては収集しないので、次の収集日まで出さないでください。

青年教室　あなたも参加しませんか

青年教室は、働くあなたがその余暇に生活技術や趣味、教養などを高める「学習と仲間づくりのひろば」です。

コース案内①茶道学級（毎週火）②華道学級（毎週火）③毛筆学級（毎週火）④写真学級（毎週火）⑤ペン字学級（毎週木）⑥絵画学級（毎週水）⑦手工芸学級（毎週木）⑧料理学級（毎週木）⑨レタリング学級（毎週木）

◇期　間　52年5月～53年2月
◇資　格　市内在住在勤の勤労青少年男女18歳～25歳
◇申込み　市青少年課に申込書があるので記入し直接青少年課（電話23・1111内線506）へ
◇締めきり　4月30日（土）まで

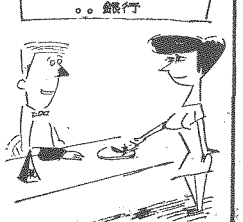
納税出張窓口

今月は固定資産税と都市計画税の第1期分と軽自動車税の納期です

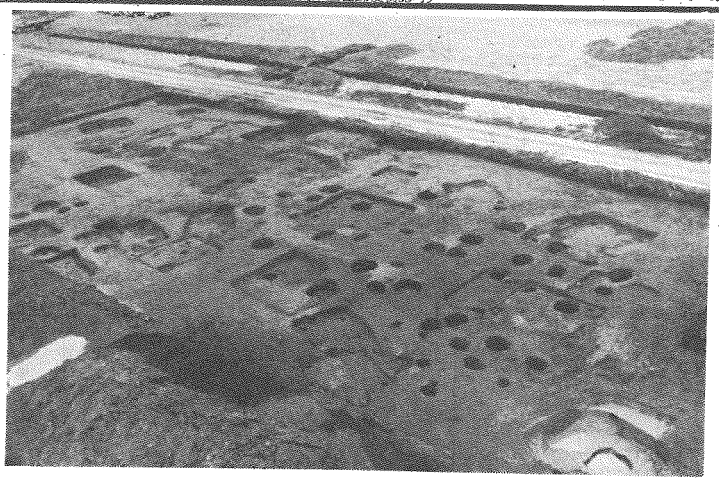
◇とき4月28日（木）

・10時30分～12時まで
須賀公民館、花水自治会館

・13時30分～15時まで
富士見公民館、飯訪町会館

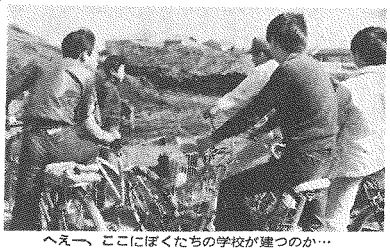


掘りおこされた奈良・平安時代

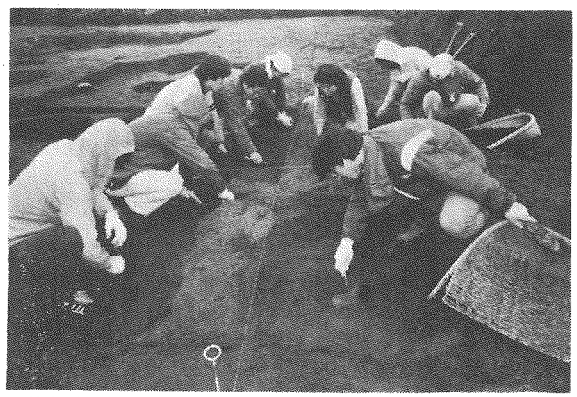


真っ黒い表土を取り除くとそこは砂地だった。その砂の上に多数の住居跡が現われた

調査の前に神主さんから〝お払い〟を受ける



へえー、ここにぼくたちの学校が建つのか…



遺跡は私たちの祖先が残していった大切な文化財。発掘作業は慎重に進められた

カメラレポート

神明久保遺跡発掘調査

市教育委員会では、今年の二月から三月いっぱいまで、「神明久保遺跡」の発掘調査を行った。この遺跡は、市内中原下宿、日蓮宗体山王寺の南側に建設が予定されている仮称大野東中学校の敷地（二万平方メ）にあるもので、今回はそのうちの半分について調査を実施したもの。

日野一郎氏（市文化財保護委員）を団長とする調査団が発掘した結果、奈良時代から平安時代にかけての住居跡をはじめ、各種の遺構が確認された。また、この遺跡に付随する多数の土器などを見つかり、この地に集落があったことを裏付けている。いわば、平塚市民の大先輩たちともいえる人々の生活が土の中に長い眠りから顔を出したのだ。

さて、くわしい内容は専門家による報告を待たなければならないが、当時の〝神明久保村〟を想像してみると……

『昔々、海からほど近い所に村がありました。今でこそ、黒い土におおわれた土地になっていますが、当時は砂地の上に住居を築きました。海から打ち寄せられた砂が小高くなったところを砂丘列というそうですが、この砂丘列に住居址が見つかったのは全国でも初めてのことです。家の大きさは、おおよそ十平方メ前後の四角い小さなものでした。それぞれの家には必ずカマドがあり食事どきには煙がいっせいに立ちのぼりました。カマドは一軒に二つとは限らず、多い家には四つもありました。また、生活必需品として欠かすことのできない器は、土師（はじ）器と須恵器がほとんどでした。平安時代に入ると、灰釉（かいゆう）陶器なども使いましたが、これは関西方面や名古屋の周辺で作られたもので、当時としては貴重品だったのです』

スポーツだより

テニススクールを開講する

平塚庭球協会では、硬式テニスの普及と基礎技術の指導のために年間を通してテニススクールを開いている。

初心者から上級およびジュニア（小学四年以上）の五段階に分けてクラスが作られている。

希望される方は、四月十八日、十九日、二十日の三日間午後三時から午後六時までの間電話で受け付けているので申し込みを。

・電話21・一六二三　平塚庭球協会　中村進

デンデンニュース

私製電話帳に注意

三月に職業別電話帳が配布される予定だが、最近「日本電信電話公社」と類似した社名を使用し銀行振替等で広告を募集している業者がみられるので注意していただきたい。これは、日本電信電話公社と一切関係がない。また、公社の広告料は、毎月電話料金に含めて請求しているのでお間違いのないように。詳しいことは、21―〇九九一番へおたずねを。

不用犬の巡回収容

犬管理センターでは捨て犬による野犬の増加と犬による危害を防ぐため、不用犬の巡回収容を行っている。当日犬をだされる方は印鑑、犬鑑札、注射済票および愛犬手帳を持参していただきたい。なお、収容車の停留時間は5分間なので早めにおでかけを。

今月の収容日　4月27日（水）

◉コースと時間

10：00	吉沢公民館	13：45	神田公民館
10：15	旭　公民館	14：00	真土公民館
10：30	御殿会館	14：10	東中原公民館
10：40	富士見公民館	14：20	豊田公民館
10：55	花水公民館	14：30	城島公民館
11：05	須賀公民館	14：50	金田公民館
11：15	松原公民館	15：05	岡崎公民館
11：25	県合同庁舎前	15：20	金目公民館
11：40	旧四之宮公民館		

郵便局だより

基本料金が改正

4月1日から電話の基本料金が改正されている。改正された基本料金は、四月分の請求書か銀行振り込み領収書を見ていただくとわかるようになっている。なお、ダイヤル通話料は改正されていない。

電話のじょうずなかけ方

☆かける前に電話番号を確かめて番号を確かめずにウロ覚えでダイヤルするのは、間違い電話のもとで迷惑する。手元には、必ず番号書き抜き紙をおき、それを見ながらダイヤルする習慣をつけよう。

昼休みはさけて

郵便物の取り集めを行っていない特定窓口郵便局は、正午から12時30分までの30分間、貯金や保険関係の窓口業務を取り扱っていない。この時間帯をさけてご利用を。

薬剤散布日程

〔富士見地区〕

4月15日　富士見町内会
18日　西仲町町内会
19日　中里町内会
20日　豊原町町内会
21日　上平塚地区町内会、富士見平町内会
22日、23日　諏訪町内会

〔松原地区〕

4月26日　老松町自治会、蔵部自治会
27日　横木町中堂自治会、天沼自治会
28日　八千代町自治会、須賀新田自治会

〔真土地区〕

5月2日～6日　真土地区連合自治会

〔四之宮地区〕

5月9日　中庭第1、第2町内会
10日　下郷第1、第2、第3町内会
11日　通町町内会、西町東部、西部町内会
12日　上郷町内会、林町内会
13日　観音町町内会
14日　東町町内会

以下次号へつづく

52年度畜犬登録と狂犬病予防注射

日　時	午前9時30分～11時30分	午後1時～2時30分
4月15日（金）	旭公民館	旭公民館
16日（土）	城島公民館	
18日（月）	諏訪町会館	徳延神社
19日（火）	寄木神社	旧四之宮公民館
20日（水）	金目公民館	農協北金目倉庫
21日（木）	花水公民館	花水公民館
22日（金）	須賀公民館	四十瀬川公園
23日（土）	神田公民館	
25日（月）	万田公民館横	公所自治会館
26日（火）	八幡公民館	東中原公民館
27日（水）	中原公民館	豊田公民館
28日（木）	松原公民館	明石町公園
5月7日（土）	金田公民館	
10日（火）	平塚保健所	平塚保健所

※受付時間は厳守して、必ず犬をおさえられる方が会場へ。なお、雨の場合も実施する。

畜犬登録と予防注射

個人通知はありません

保健衛生課では、狂犬病予防法の規定にもとづき、平塚保健所と協力して生後九十一日以上の飼い犬の登録と狂犬病予防注射を次の日程で行う。

飼い主のみなさん、手数料と愛犬手帳を持参のうえ、最寄りの会場へお出かけを。

▽登録料　三百円
▽注射料　八百円
▽注射済票および交付手数料　百五十円、計千二百五十円。

※つり銭のいらぬようご用意を。

薬剤の散布

散布口を明確に

保健衛生課では、床下の衛生害虫の駆除と発生予防のため、地区組織をとおしてお宅を各家庭を訪問し床下に薬剤を散布する。日程は右表

散布日、留守にする家庭では、どこから薬剤散布をしたらよいかわかるようにしておいていただきたい。

使用する薬剤は、人体に毒性が低く衛生害虫には効果のあるスミチオン一・五％粉剤を使用するが池の鯉や金魚、小鳥、洗たく物などに薬剤がかからないよう注意してほしい。

なお、植え込みや庭木には薬剤散布をしていない。

◎◎◎◎◎新緑の散歩道◎◎◎◎◎

湘南平へハイキングに行こう

◉ハイキングコースの1例

平塚駅 —バス①番線湘南平行→ 上万田
また上寺坂行15分
—徒歩15分→ 子供の森 —徒歩20分→
浅間山 —徒歩20分→ 湘南平 —バス20分→ 平塚駅

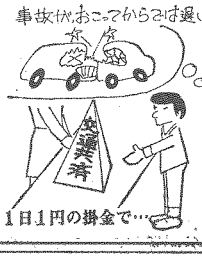
◆春　平塚風景観光写真コンクール
（5月10日締め切り）
申込み先　市商工課観光係

※秋に写生コンクールが行われるので春の湘南平周辺の景色を写生しておこう

花ごよみ　つつじの見ごろ
4月15日～25日

みんなで入ろう交通災害共済

5月から見舞金の引き上げ



- 1等級　死亡したとき　70万円
- 2等級　1年以上の傷害を受けたとき　18万円
- 3等級　6か月以上の傷害を受けたとき　12万円
- 4等級　3か月以上の傷害を受けたとき　6万円
- 5等級　1か月以上の傷害を受けたとき　2万5千円
- 6等級　1週間以上の傷害を受けたとき　1万円

※見舞金請求は交通事故証明と診断書、印鑑が必要。

◉掛金　おとな1人年額　300円、こども100円
老人、身障者、精薄者200円

◉申し込み　掛金をそえて交通安全課に申し込めば代理人でもすぐ加入できる。
市交通安全課　電話（23）1111内線254

家出をなくそう

話し合える親子関係を

少年の家出をなくそう、四月一日から四月三十日までの一カ月、家出少年の発見保護強化月間が行われている。

昭和五十一年中県下で発見された家出少年は、二千七百三十四人で、大幅に増加した前年に比べると、八十六人（三・一％）減っている。

しかし、このうち警察に届け出のあったのは、一千六百九十人残りの七百三十四人（二七％）については届け出がされていない。

このように、家出の原因は、家庭環境が大きく影響しているようだ。

また、昨年の家出少年の特徴を見ると、①小中学生の増加　②女子の増加（昨年は二千四百八十四人）③異性関係に原因する、の三つが特に目立っている。

こうしたことになるというに家出を未然に防ぐには、暖かい家庭のふんいきが必要で、それには平素からきちんとしたしつけをさせるとともに、無理な期待や負担をかけないようにすること。そして悩みごと、心配ごとが起きたときにはすすんで相談するような、話し合える親子の関係をつくることが大切。

なお、家出したときは、一刻も早く最寄りの交番か警察に届け出ていただきたい。また、期間中は警察署に家出人の相談所が開設されているのでご利用を。

★ユーステレホンコーナー

県警本部の少年課では、電話で少年の悩みごとを相談する「ユーステレホンコーナー」が設けられている。経験豊かなケースワーカーが、その相談に応じているのでお気軽にご利用を。

・電話〇四五（六四一）〇〇四五

就学費用に援助を

希望される方はご相談を

教育委員会では、経済的に苦しい家庭の教育費の負担を軽くするため、必要な経費の援助を行っている。

この教育費援助の対象となるものは、①学用品費　②入学用学用品費　③修学旅行費　④給食費　⑤遠足代　⑥林間臨海学校代　⑦医療費などである。

ただし、援助できる家庭には制限があり、目安は次のとおり。

【援助できる家庭の目安】

▽昭和51年4月1日以降に生活保護が停止または廃止された家庭

▽児童扶養手当の受給家庭（児童手当ではない）

▽夫婦と子供二人の場合で年間所得金額が約百五十五万円以下である家庭

▽経済的に特殊事情のある家庭

希望される方は、教育委員会学務課学務係（電話23・二二一内線五二〇）または受け持ちの先生に相談していただきたい。

チビッ子たちに解放

須賀公園野球場

須賀公園は、長い間体育施設の不足から野球場として使用されていたが、昨年十月に三共（株）の好意で新しい野球場が生まれたので、市はこれを機会に運動広場のある公園として、衣替えすることになった。

工事は七月以降となるため、当分の間、次の条件で小中学生の団体スポーツに開放することになった。

①利用者は、責任者（大人）をつけて、毎月20日午前8時30分から前一カ月の申し込みをする。

②利用時間は午前午後の部とし、一団体一日一回とする。

③利用者が多い場合は、申込日の午前9時から抽せんできめる。

④利用者は、月二回以内を原則とする。

⑤使用料は無料とする。

⑥事故防止に万全をはかること。

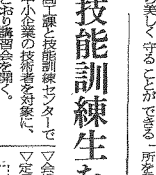
⑦利用の権利は譲ることはできない。

⑧使用後は清掃し、原形にもどすこと。

なお、申し込み等詳しいことは公園緑地課公園係（電話23・二二一内線四二六）へ。

教育功労者表彰

所武先生



言語障害児などを指導してきた崇善小学校「ことばの教室」の所武（55歳）教諭が、三月二十八日平塚市教育功労者として、表彰された。

表彰された所先生は、昭和四十一年平塚市教育委員会の施策の一つとして、企画された言語障害児のための「ことばの教室」の開設準備委員の一人として、崇善小学校に勤務。教室実現のため日夜東奔西走し、他市にさきがけて昭和四十三年四月、ことばの教室を開設、言語障害教育の基礎を築きあげた。

以後、四十五年には、難聴障害学級の新設をめざして、積極的にこれを押し進め実現させた。

かべ新聞を募集

美しい自然と環境を守る

六月五日は「世界環境デー」。毎年六月五日から一週間を「環境週間」ときめ、よりよい環境を求めて、全国的にいろいろな行事が行われている。

今年は五回目を迎えて、小・中学生のみなさんから「かべ新聞」を募集することになった。

かべ新聞のテーマは、公害をふせぎ、山や川、みずうみや海を大切にするためにどうしたらよいか私たちが住んでいる町や村をどうしたら美しく守ることができるか、また、悪いところはどのようにしたらよくなるのかなど。

▽紙の大きさ　B二版（たて五一・五センチ、よこ七一・八センチ）で、たて長でもよく、使用する色、紙質は自由。

▽締め切り　5月10日までに到着するよう送付する。

▽送り先　〒100千代田区霞が関3の1の1　環境庁総務課広報室

なお、作品の裏面に氏名、年齢、学校名、学年、組と郵便番号と住所を記入する。

この間、ことばの教室においては、主任として指導内容、指導方法の研究や実践の向上に、努力されている。

この日、教育長室で松永昇三教育委員長から表彰状と記念品を贈られた所先生は「与えられた仕事をただ一生懸命やって来ただけ」と、言葉少なに語っておられた。

技能訓練生を募集

市商工課と技能訓練センターでは、中小企業の技術者を対象に、次のとおり講習会を開く。

各コースとも、講習日が迫っているので、希望される方はすぐ商工課・業務係に申し込みを。

測定法

新製品本者および測定法を学ぼうとする方に、現場において使用ならびに取り扱いについて指導する。

▽受講資格　新製品本者と機械作業に関する技能者

▽講習日程　4月18日～28日まで時間は午後6時から9時。

▽会場　技能訓練センター

▽定員　15名　無料

新入社員啓発訓練

新入社員がすすやかに、職場にとけこめるための基本ルールを事例討議、ロールプレイング等をとおして、体験的に理解させる。

▽受講資格　新入社員

▽講習日程　4月18日～22日まで時間は午後一時から5時。

▽定員　15名　無料

◆申込み　商工課・業務係（電話23・二二一）

監督者育成訓練

後輩の指導と人間関係、仕事の進め方、監督者として必要な監督技能をわかり易く指導する。

▽受講資格　新任監督者または監督者の候補者

▽講習日程　4月25日～28日まで時間は午後一時30分から4時30分。

▽会場　技能訓練センター

▽定員　25名（無料）

退職金制度のご利用を

中小企業退職金共済事業団と平塚商工会議所で行っている退職金制度に加入してはいかが。この制度に加入すると一人あたり月八百円から二万円までの掛金をすると、きちんと決まった退職金が支給できるようになる。また、平塚市ではこの制度に加入したときから三年間補助金を出している。

詳しいことは、市商工課（電話23・二二一内線五五〇）へ。

豊田公民館まつり

豊田公民館まつりが四月二十二日から二十四日までの三日間、公民館利用団体等による展示と芸能発表を中心に行われる。

◆展示　4月22日～24日　書道、華道、絵画、手芸等

◆催し物

▽4月22日　お茶会、バザー（いずれも午後から）

▽4月23日　俳句のつどい（午後）、ダンスパーティ（夜）

▽4月24日　囲碁・将棋大会（一日）、子供映画会（午前）、芸能発表会（午後）

公民館だより

新着図書

文　学

幻の墓　森村誠一
西海道談綺　四　松本清張
遥かなる歳月　曽野綾子
生きることの地獄と極楽　武田泰淳
サテンの夜　丸山健二
打出小槌町一番地　城山三郎
ことばの宇宙　木島　始
私の源氏物語　村山リウ
思ひ出すままに　吉田健一
南島歌謡　小野重朗
アイヌの文学　久保寺逸彦
歴史と文芸の間　植村清二
日本文学史　近世篇上　D・キーン
ノンセンス大全　高橋康也
奥野健男作家論集1　奥野健男

ノンフィクション

明治からの伝言　永六輔
サスペンス映画の研究　槙草甚一
くたばれコンピュータ　津川敬
鈴木茂治
底辺より撃つ　村松孝憲
ジャズ　本多俊夫
史話366　ブリタニカ編
パスカル　ベガン
無文字社会の歴史　川田順造
日本史人間模様　和歌森太郎
最愛の人わが父ラッセル　テート
経済記事の見方　1977年版　日本経済新聞社編
食糧危機はくるか　井野隆一
現代貧農考　薄井　清
バナナの経済学　岩槻泰雄
写真集　森下洋子　飯島　篤
地方政治の社会学　古城利明
一般相対性理論　ディラック
油絵をシステムで学ぶ　嶋本博英他

家庭・生活

荒野の釣師　森　秀人
硬式テニスの打法　渡辺功　他
母乳哺育　ラファエル
オーディオABC　上　瀬川冬樹
パーティ　飯田深雪
味国記　寺尾宗冬
子供部屋の建て方　主婦と生活社編
男を創るセンス　古波蔵保好
調理学　河野友美他編
洗剤の知識　山縣啓利

催し物コーナー

博物館

★今年の博物館

博物館では、52年度もいろいろな行事を計画し、みなさんの参加をお待ちしている。

主な行事には、美術展をはじめとする特別展、民俗・歴史の連続講演会、デッサン教室など、また毎月行うものとして体験学習シリーズ、自然観察会、星を見る会などを予定している。詳しいことは、館内で配布している「はくぶつかん」4月号を。

★古文書講読会参加者募集

「江戸時代に作られた文書を読めるようになろう」をテーマに、今年も初心者を募集する。歴史を身近なもの、具体的なものとするため、みなさんで文書を読んでいく会。

・期間　5月～53年4月までの第2、第4土曜日、午後2時から4時まで。
・対象　高校生以上一般の方
・申込み　往復はがきで4月25日までに申し込む。定員30人

★自然観察会

貝の化石や、初夏の植物の観察

・5月8日（日）午前9時30分～午後4時。
・場所　大磯町虫窪付近
・申込み　参加希望者は、往復はがきで4月30日までに博物館に申し込む。定員30人、多数の場合は抽せん。

★ワラジを作ろう

―科学教室・体験学習シリーズ⑪―

旅のはき物であったワラジを作ってみる。

・5月15日（日）午前10時～午後3時
・申込み　参加希望者は、往復はがきで5月7日までに博物館に申し込む。定員20人多数の場合は抽せん。

★星を見る会

月齢7の月面を観察する。

・5月25日（水）午後6時～8時曇雨天の場合は26日、26日も曇雨天のときは中止。
・申込み　参加希望者は、往復はがきで5月15日までに博物館に申し込む。定員30人、多数の場合は抽せん。

図書館

★こども映画会　10時と14時

☆5月8日（日）

「少年猿飛佐助」　動画カラー　79分

★映画会　10時　14時

☆5月15日（日）

「伊豆の踊子」　カラー　1時間27分

主演　吉永小百合　浜田光夫

新シリーズ「今月の本」

今年度のシリーズは、毎月一つのテーマをとりあげ、そのテーマに関する本をご紹介する。題して「今月の本」。

第1回　知的生活の本

『知的生活の方法』がベストセラーになった。月刊誌や週刊誌で知的生活の特集が組まれる。サラリーマンの勉強が論じられる。

これらの現象は情報化時代のなかでますます高度で的確な情報が必要とされる一方で、それを求めることが難しくなっているということからきているだろう。また、余暇の有効な使い方が真剣に問題とされるようになっているということからもきているだろう。そこでシリーズ第1回は「知的生活の本」をとりあげた。

ここにあげた本はほんの一部である。重要なことは、これらの本を読んだ上で、実際に数多くの本を読むことだろう。

こうした読書計画、本の選択等について図書館にご相談を。各種の文献目録を使ってお答えする。

『現代人の読書術』紀田順一郎
書物との出会い、読書計画、読書の技術、本の買い方・集め方、書物の知識など総合的に論じている。

『本はどう読むか』清水幾太郎
本の選び方、読み方から、メモのとり方、整理の仕方、外国書の読み方まで本とつきあう上で必要な工夫をとりあげている。

『知的生活の方法』渡部昇一
日常生活の中からオリジナルな発想を生むためのヒントとアイデアを示している。

『読書論』小泉信三・『読書の整理学』紀田順一郎・『本が語ってくれること』吉田健一『本とつきあう法』中野重治・『私の読んだ本』松田道雄・『読書のなかの思想』久野収『枕頭の書』福永武彦・『本の中の世界』鳥井秀樹・『私の読書法』大内兵衛・芳賀徹他『現代の青春におくる挑発的読書論』白上謙一・『読書案内上・下』加藤周一他

◆休館日
毎週月曜日　毎月末日　祝日（4月29日・5月3日・5月5日）

◎平塚市図書館　〒254 平塚市浅間町12―41
電話（31）0415

青少年会館

★ママさん一緒　日本の歴史

――生活の役に立つ日本史――

・4月20日から毎月第3水曜日、午前10時から正午まで。
・地域の婦人20人を対象

★ボランティア推進会議

――これからのボランティア活動――

・4月20日（水）午後6時30分から8時30分まで。
・勤労青少年20人を対象

★華道教室

――初心者のための華道教室――

・5月11日から6月15日までの毎週水曜日、午後6時30分から8時30分まで。
・講師は小原流家元教授安斎光香氏
・勤労青少年20人を対象

★館長と語ろう

「青春と生きがい」をテーマに、みんなで話しをしよう。

・5月19日（木）午後6時30分から8時30分まで。
・勤労青少年30人を対象

利用の仕方　催しものの申し込みは、電話または直接来館のうえお気軽にどうぞ。

休館日　毎週月曜日と4月29日、5月3日、6日

◇予防接種に必要なもの
①母子健康手帳（転入した人は旧住所で使っていた母子健康手帳）
②問診票（この票は必ず家で記入して体温を測定してきてください）

◇予防接種を受けられない人
①予防接種を受けて1週間たっていない人。②はしか、BCG、種痘、小児マヒ生ワクは、それぞれ1か月以上の間隔をおかないと受けられません。③その他、有熱患者、けいれん性体質、心臓血管系、腎臓または肝臓に疾患があり医師にとめられている人。

百日せき　ジフテリア　破傷風

（三種混合予防接種）

毎月実施しています。受けやすい会場でお受けください。

■対象・【第1期】―3回受ける。生後24か月から48か月までの幼児。（接種間隔は2回3回とも3週間から8週間）
【第2期】―1回受ける。第1期の3回目が終ってから12か月～18か月までの期間に受ける。48か月までに第二期を完了するのが望ましい。
■時間・13時30分～15時まで。ただし※印の会場は14時～15時
〔4月〕
19日　崇善公民館　旭公民館
※中央農協士沢支所
20日　大野公民館　横内団地集会場
※豊田公民館
21日　須賀公民館　※松原公民館
※金田公民館

予防接種カレンダー

4月　三種混合の接種

個人通知はありません…この日程表を見やすい所へ

4月19日　神田公民館
21日　岡崎公民館
26日　大野公民館
28日　吉沢公民館
5月4日　須賀公民館
6日　金田公民館
12日　土屋公民館
13日　市役所B会議室
17日　富士見公民館
19日　豊田公民館
24日　花水公民館
5月13日　須賀公民館
※松原公民館
〃16日　八幡公民館
横内団地集会場
〃17日　大野公民館
※城島公民館
〃18日　金目公民館
※岡崎公民館
〃19日　中原公民館
※金田公民館
〃20日　市民病院

赤ちゃんのステーション

石黒　宏明ちゃん
いしぐろ　ひろあき

☆御殿1丁目29―11　平塚社会保険事務所にお勤めの石黒義明さん（28歳）と由紀子さん（26歳）の長男。現在、6か月半で体重9㌔身長70㌢。51年9月29日生れ
今年「初節句の宏明くん、おじいちゃんとおばあちゃんにおとナさんを買ってもらい、実家からこいのぼりが届けられニコニコ。まだ少し早いけど、と断わりながらも「4月13日に飾る」とご両親もうれしそうだった。

≪募集≫《応募》官製はがきに住所・父母の氏名・赤ちゃんの名まえと生年月日・親の年齢・電話番号・父親の職業を書いてお出しください。対象は1年未満の赤ちゃんです。応募されたはがきは、毎月20日（20日消印まで）に締切り、翌月の広報紙に掲載します。掲載した赤ちゃんには、記念写真と掲載広報紙10部を差しあげます。〈今月の応募者は25人でした〉
■あて先・〒254茂間町9番1号・平塚市秘書広報課赤ちゃん募集係。

小児マヒ生ワク

■対象・接種当日に満3か月を経過して、18か月未満の乳幼児（満18か月に達しないうちに2回の服用をすませる。）健康上の理由で受けられなかった人は、48か月にならないうちなら受けられます。
■時間・13時30分～15時まで。ただし※印の会場は14時～15時。
■巡回日程
5月10日　崇善公民館　旭公民館
〃11日　花水公民館
※中央農協士沢支所
〃12日　神田公民館
※豊田公民館

母親教室

初めて妊娠された方を対に母親教室を開きます。なるべく妊娠7か月までにお受けください。
時間は13時30分から16時まで、母子健康手帳、筆記用具をお持ちください。

☆平塚市役所…毎月実施（月曜日）
日程　5月2日、9日、16日、23日
場所　市役所B会議室
申し込み　電話かハガキで
茂間町9―1市保健衛生課
電話　（23）1111内線259・260

赤ちゃん相談

満1歳までの赤ちゃんが対象です
時間は午前9時30分～10時30分

胃・子宮がん検診

胃・子宮がんの検診をいたします希望する方4月30日までには電話かハガキでお申し込みください。
■対象・胃がん…市内に住んでいる40歳以上の男女。
子宮がん…市内に住んでいる35歳以上の婦人
■料金・無料
■申し込み方法・胃・子宮の別、生年月日、世帯主名、連絡用として電話番号を記入する。
■申し込み先・茂間町9―1、市保健衛生課電話（23）1111内線260

～～～保健所だより～～～

◆平塚　健所（32・0130）
母子健康手帳をもってお出かけください。

乳幼児検診

■場所・平塚保健所
■時間・13時～14時まで
【3か月児健診】
5月6日　52年1月1日～10日生
5月13日　52年1月11日～20日生
5月20日　52年1月21日～31日生
【3歳児健診】
5月12日　49年3月1日～10日生
5月19日　49年3月11日～20日生
5月26日　49年3月21日～31日生

障害者に手当を支給
詳しくは福祉課へ相談を

国、県、市では、それぞれ対象は違うが、在宅の重度の障害者（児）に対し、その福祉の増進を図ることを目的として、福祉手当を支給している。
ここに、国、県、市それぞれの福祉手当を紹介するが、該当する方でまだ受給していない方は、すぐ手続きをしていただきたい。
窓口は、福祉課更生福祉係（電話23・1111内線三二）で行っている。

◆県在宅重度障害者等手当
▽対象　①重度障害者（身体障害者手帳一級、二級の所持者、あるいは児童相談所、更生相談所で知能指数35以下と判定された人。また身体障害者手帳3級でかつ知能指数50以下の人。）
②重度障害者等（身体障害者手帳を持っている三級の人、あるいは知能指数40以下の人。また、四級の身体障害者手帳を持っていて、知能指数50以下の人。）
▽手当額　重度障害者は年額二万円、重度障害者等は年額一万円。ただし、福祉手当（国）受給者は年額一万円。
▽申請期間　4月、5月の二か月

◆重度障害者福祉手当（国）
▽対象　①両眼の視力の和が〇・〇二以下のもの。②両耳の聴力が補聴器を用いても音声を識別することができない程度のもの。③両上肢の機能に著しい障害を有するもの、両下肢のすべての指を欠くもの、両下肢の用を全く廃したもの、両大腿を三分の一以上失ったもの、体幹の機能に障っていることができない程度の障害があるもの。
▽日時　9月30日（金）と53年2月3日（金）午前10時から11時まで。
▽場所　福祉会館

◆平塚市心身障害者福祉手当
▽対象　平塚市に住民票のある在宅者であり、身体障害者手帳一級から三級までの所持者。また、精神薄弱者で知能指数50以下と判定された人。
▽手当の額　月額二千円
▽申請期間　随時

◆県在宅重度障害者等手当
▽対象　①重度障害者（身体障害者手帳一級、二級の所持者、あるいは児童相談所、更生相談所で知能指数35以下と判定された人。また身体障害者手帳3級でかつ知能指数50以下の人。）
②重度障害者等（身体障害者手帳を持っている三級の人、あるいは知能指数40以下の人。また、四級の身体障害者手帳を持っていて、知能指数50以下の人。）
▽手当額　重度障害者は年額三万円、重度障害者等は年額二万円。ただし、福祉手当（国）受給者は年額一万円。
▽申請期間　4月、5月の二か月

◆重度障害者福祉手当（国）
▽対象　①両眼の視力の和が〇・〇二以下のもの。②両耳の聴力が補聴器を用いても音声を識別することができない程度のもの。③両上肢の機能に著しい障害を有するもの、両下肢のすべての指を欠くもの、両下肢の用を全く廃したもの、両大腿を三分の一以上失ったもの、体幹の機能に障っていること
▽手当額　重度障害者は年額三万円、重度障害者等は年額二万円。ただし、福祉手当（国）受給者は年額一万円。
▽申請期間　4月、5月の二か月

◆平塚市心身障害者福祉手当
▽対象　平塚市に住民票のある在宅者であり、身体障害者手帳一級から三級までの所持者。また、精神薄弱者で知能指数50以下と判定された人。
▽手当の額　月額二千円
▽申請期間　随時

【手続きの方法】
申請に必要な印かんや診断書等各手当とも違うので、詳しいことは福祉課へおたずねを。

身体障害者の巡回更生相談

身体障害者を対象に巡回更生相談を開く。相談を希望される方は前日までに福祉課更生福祉係（電話23・1111内線三二）へご連絡を。
【整形外科】
▽日時　毎月第四月曜日と5月4日（水）、11月2日（水）午後1時から2時30分まで。
▽場所　福祉会館
【耳鼻科】
▽日時　4月21日（水）と8月31日（水）、12月21日（水）午後1時から2時30分まで。
▽場所　福祉会館
【眼科】
▽日時　9月30日（金）と53年2月3日（金）午前10時から11時まで。
▽場所　福祉会館

監査の結果

平塚市監査委員は、監査の結果を次のとおり公表した。
▽監査委員　石田成氏
　　同　閑田崇一氏
▽監査の種類　定期監査
▽監査の対象とした組織　施設の維持管理、物品の出納保管
▽監査手続　平塚市監査基準による。
【公表二月十八日付】
金田保育園、吉沢保育園、高原保育園、しらさぎ保育園
▽監査の実施期間　昭和五十二年一月十日から同年一月二十日まで、および同年二月七日
▽監査の結果　良好に維持管理されているものと認められた。
【公表三月十七日付】
▽監査の対象とした施設の名称
職員独身寮、競輪場、食肉センター、市民センター、みなと児童館、駅ビル連絡車庫所、東部ポンプ場、区画整理事務所、老人憩いの家（七国荘）、図書館、教育研究所、博物館、北部学校給食共同調理場、崇善学校給食共同調理場
▽監査の実施期間　昭和五十二年一月十八日から同年二月三日まで、および同年二月十六日
▽監査の結果　市民センター、早急に施設が要る側所があったほかは良好に維持管理されているものと認められた。

不用品交換

さしあげます

▽ゆりかご、子供用折りたたみベッド、シングルベッド、ベビーベッド、ソファベッド、ガスストーブ、都市ガスコンロ、スキー板、メリーゴーランド、スチール製ジョイティングデスク、かつら、茶器セット、天火。

譲ります　有償

▽ウェディングドレス、婦人用衣類、女学生用オーバーコート、げた箱、電気温風ヒーター、大型2ドア冷凍冷蔵庫、椅子、アイウエオクック、スキー板、クローブ鳥かご、金魚鉢、写真引伸機、エレクトーン、メリーゴーランド、（自転車大人用・子供用）オートバイ（50cc）、車のタイヤ、ハイビーム、女性用かつら、ベビーサッシ、歩行器、ベビー用体重計、コンピュータック、夜具入れ、ブレハブ物置。

譲ってください

▽0・8畳用男子衣類、七五三着物、留袖、編機、ポータブルラジオ、二段ベッド、マットレス、応接セット、和ダンス、洋服ダンス、ベビーダンス、鏡台、整理ダンス、サイドボード、カラーテレビ、電気毛布、カセットコーダー、冷蔵庫、冷凍庫、洗濯機、電気釜、石油ストーブ、木の風呂釜、ドラフター、書棚、野球ユニホーム、子供用鉄棒、剣道具一式（児童用）、カメラ、ピアノ、トランペット、メトロノーム、SPレコード、二人乗りブランコ、すべり台、ひな人形、オートバイ50CC、婦人用自転車、ベビーバギー、乳母車、ランドセルタイヤ、リヤカー、新生児用たらい、木の門扉、圧力釜、ラジオ、ビデオ、トランジスタ、ミニコンポ、ベビーベッド、ベビーチェアー、家庭用ミシン、業務用ミシン、二段ベッド、応接セット、ダブルベッド＋二段ベッド

交換してください

▽電気オルガン＋婦人用自転車
▽物干台＋車用ベビーチェアー
▽二段ベッド＋応接セット

苦情相談

建て売りを解約

質問　建売り住宅の売買契約をして、代金九百万円を支払った。その後、車庫を建てるつもりで敷地を掘ったところ排水ミゾが埋設されており、近所六軒分の下水が流れんでいることがわかった。今後、増改築にも支障があり解約したいが、相手方は契約書をたてに二〇%の損害賠償金の支払いを求めてきた。無料で契約を解除できないか、また排水ミゾを取り除いてもらうことはできないか。

答ええ　県建築総務室に照会したところ、契約の変更は難しいが、付帯条件に問題があるとのことで、関係業者に指導を依頼しました。その結果、現況の排水ミゾを隣りの家との境界に移動することになり、移動の費用は業者が負担し、新設工事費は利用者が分担して支払うことになりました。
不動産は、一生に一度の大きな買い物。購入にあたっては、十分な事前の準備と調査、そして注意が必要です。

統計調査員に協力を

国や地方公共団体の行政は、人口、労働力、農業、鉱業、商業、建設業、運輸などの全野にわたって各種の統計資料が必要になっており、そのため、現在百二十四の指定統計調査が行われている。
基幹調査などは、市全体が調査対象で、その他は抽出調査となり必要に応じて一年、三年、五年を周期として実施されている。
五十二年度は、学校基本調査や全国消費実態調査、平塚市住民実態調査などの十三の調査が行われる予定。
市民のみなさんのご家庭に調査員が訪問し、いろいろお聞きしたり、調査を依頼したりすることがあるので、ご協力をお願いする。
なお、これら調査の結果や統計について詳しく知りたい方は、行政課統計調査係（電話〇・一一一内線二四八）へおたずねを。

生活関連物資価格調査

消費生活モニター30人による3月の平均価格

品目	規格	小売店	スーパー	百貨店
合成洗剤	1.66kg	622円	601円	603円
イレーパ	65m 4個入	169円	162円	160円
豚 中肉	100g	155円	156円	152円
じゃがいも	1kg	138円	133円	157円
砂糖	白1kg	247円	244円	248円
天ぷら油	600g	255円	252円	269円
小麦粉	1kg	156円	153円	148円
しょう油	1ℓ	222円	217円	230円
プロパン	10kg	1,658円	―	―
灯油	18ℓ配達	728円	―	―

買い物メモ…モニターのみなさん、1年間ごくろうさまでした。1年間の毎月の最高、最低価格の一覧表ができた。生活課窓口にあるのでどうぞお持ちを。

毎月第1、第3土曜日

お肉の特売です

販売品目　豚肉、ハム全品
割引　平常店頭小売価格の100gにつき20円安。！
（ただし、一部特価品を除く）
問い合わせは市役所生活課
（電話23・1111内線264）

春の防犯運動……5月1日から

留守にするときは隣りに声を

◉空き巣に入られないために
戸締まりの確認　長く留守をするときはもちろん、ちょっとの間家をあけるというときでも必ず戸締まりの確認と火の点検を行う。
一声運動　ドロボーは人の目が何よりこわい。お隣りさんに一声たのんで家の様子を見てもらう。
付近に注意　あなたが留守にするのを待っている。自宅付近に、見知らぬ人がいたり、のぞき込んでいないか気をつけよう。
※出かける前の5分間を合いことばに気をつけよう

◉自転車を盗まれないために
自転車には、カギと名前と防犯登録を実行しよう

広報手帳

農総研が一般公開

県の農業総合研究所では、科学技術週間にちなんで、4月18日（月）から23日（土）までの六日間、研究所を一般公開することになった。

期間中は、土じょう肥料病虫等の追跡をしている公害調査課の実験室、玉ネギやミツバやホウレンソウの品種改良をしている圃場、また、古い農機具が展示してある展示室などが一般公開される。

そして、22日（金）、23日（土）の両日は、農業生産者による植木、草花、野菜等の販売会も開かれる。あなたも一度見学されては。

なお、団体で見学を希望される場合は、事前に連絡を。職員がご案内する。

▽日時　4月18日～23日午前9時から午後4時まで。
▽場所　寺田縄四九六（交通神奈中バス秦野行農総研前下車）
▽電話（58）○三三三

鉄砲の一斉検査

平塚銃砲安全協会と平塚警察署で4月三日から八日まで、銃砲の一斉検査を実施したが、この期間に検査を受けなかった方がまだ見受けられるので、次の日程で行う。必ず検査を受けていただきたい。

なお、この検査は銃砲刀剣類等所持取り締まり法に基づいて行うもので、十分ご注意を。

▽日時　4月16日（土）と17日（日）の二日間、午前9時から午後4時まで。
▽場所　平塚警察署

ボランティア募集

平塚駅前赤十字奉仕団では、目の不自由な人たちが少しでも安心して、また、自分の力で街に出かけられるよう目の不自由な方のため、地図作りを始めた。

目の不自由な人にとって、現在の生活環境は、点字ブロックが増えたとはいえ、ひとり歩きは大変。奉仕団では、この人たちの目やつえとなって、公共機関や病院、買い物等に同伴、また、通信物などの代読、代筆をしているグループ。ぜひ、ご協力を。

【説明会】
▽日時　4月19日（火）午後一時から
▽場所　福祉会館指導員事務室
・平塚駅前赤十字奉仕団（電話33・二三三三）

賛助会員募集

福祉に愛の手を

あなたも福祉に参加しませんか。平塚市社会福祉協議会では援護事業を軸に福祉の養成、ボランティアの育成等、人と人とのふれ合いを深め、みんなで協力して福祉を高めていこうと現在活動している。

昨年度は、この趣旨に賛同していただいた九百人の方から協力していただき、総額百二十二万円集まった。

今年度も地区社会福祉協議会のみなさんや、民生委員さん、その他各種団体の協力を得て、賛助会員の募集を行っているので協力していただきたい。

賛助会費は、一人一口五百円で何口でも大歓迎。連絡先は、『福祉会館内　平塚市社会福祉協議会　追分1-43　電話33・一三七七』へ。

声のひろば

公民館で献血を

今年は実施するので協力を

質問　家庭にいる主婦には献血をする機会がなかなかありません。

買い物に出たとき、献血センターまで出向けばよいのですがつい時間がなくいくのをやめてしまいます。四、五年前知人が入院し輸血のため、献血手帳を十冊以上集めなければならなくなり献血の必要性をつくづく感じました。

年に二、三回公民館にでも献血車がくれば、ぜひ献血したいと思っています。

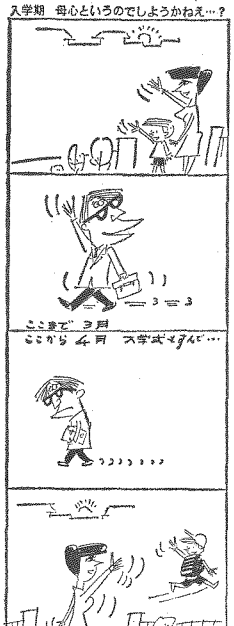
お答え　近年、血液の需要は、非常に高まっています。それを賄う血液は、市民のみなさん一人一人の善意による献血以外にありません。現在、血液センターがあるのは、県下横浜市と平塚市だけです。他市と比較すればより身近にあるわけですから、大いに活用してください。

さて、本市においては、市内各地区から推せんされた二十二人の献血推進指導員を中心に、主に公民館を会場として、今のところ年一回ですが、住民の方々を対象とした献血を行っています。また実施していない地区も一部ありますが、市内全地区の会場へ献血にお出かけください。

平塚駅前での献血

ひらつかさん

入学期　母心というのでしょうかねえ…？



消防職員の募集

◇消防士……9名

◇資格　昭和29年4月2日以降に生まれた健康な男子で、学校教育法による高等学校以上を卒業した方

◇受け付け　4月18日～27日まで

◇問い合わせ　申し込み用紙の請求と問い合わせは、消防本部庶務課庶務係　電話（23）1111　内線387へ

こころ　あたたかい

平塚市善意銀行（福祉会館内）に寄せられたあたたかい善行を報告します。

▼社会福祉へ・馬子　四千円、山口平八　四千円、一市民　二千円、平塚市青年教室　二万四千百七十二円、馬場八郎　二千円、川島知津子　二千四百三十円、湘南海岸　一万二千百五十二円、競輪場特設一同　九千百円、議会事務局　一万一千二百七十円、大久保義孝　三千円

▼老人福祉へ・猪俣米子　三千円

▼交通遺児へ・広沢一夫　二万円、清野緑　三千二十九円、中戸川美知子　一万円、軍恩連盟石井敏雪　十万円、日産労組平塚支部青年部　十一万四千三百五十円

▼心身障害（児）者へ・林守佩　五万円、匿名　一千円、川口勝太郎　五十万円

▼憲まれない（児）方へ・田村団地　二千八百四十四円、青木洋子　一千円、光栄堂　三千二百四十九円、富士真規社協　一万円、神田中生徒会　一万二千四百二十三円、大庭　一万円、市役所建築課一同　三千円

▼福祉施設へ・Aコープ大野店　七千二百円、小野洋子　二万円

（以上3月17日現在）

18日から土屋霊園受け付け

土屋霊園墓地の貸し付け分譲申し込みは、四月十八日から二十日までの三日間、市役所玄関ホールで受け付ける。時間は午前9時から午後4時30分まで。

なお、申し込み用紙のない方には、霊園建設管理事務所（市庁舎内巻）で配布している。

青少年映画劇場

◇とき　4月17日（日）　9時～10時30分

◇ところ　松竹紅谷座　TEL21・1021

◇上映映画　男はつらいよ望郷編

◇入場料　大人、小人とも100円

教育相談

成績にむらのある子

＝教育研究所（31）6850＝

二年生の男の子です。どの教科も平均した点をとってきてくれればよいのですが、まちまちです。幼稚園時代から申し込みは、四月十八日から二十日までの三日間、市役所玄関ホールで受け付ける。時間は午前9時から午後4時30分まで。

なお、申し込み用紙のない方には、霊園建設管理事務所（市庁舎内巻）で配布している。

大部分の親は、子供の成績を期待し、いい点をとってくれるように願っています。しかし子供は、それぞれの持ち前の力があります。その持ち前の力が十分に発揮したかどうかが成績に表われてくるのなのです。

兄弟の場合でも性格が違うと同じように、持ち前の力が違います。よく「二人合わせて、二で割れば丁度いい」という場合があります。「好きこそものの上手なれ」という諺がありますが、好きなものに自信持たせるよう、何かできたことが、他の教科へも発展していく結果となります。

平均してよくできることが理想ですが、しかし大部分の子供は、同じような点はとれません。そこでもしその子が持ち前の力を精一杯発揮したので、その方がいいのですが、どうも算数や理科が嫌いなのか、点は良くありません。どのようにしたらいいでしょうか。

生かしてやるようにしていくことが大切です。嫌いなものを無理にパすることはかえって子供の性格を歪める結果を導く理科ができないこともあります。

理科が嫌いなのは、国語や算数や社会や音楽などの方面はいいが、国語や算数や社会や音楽などの方面はよくできるが、算数や理科の方面はできないこともあります。

また、その逆の子もいます。体育や図工や音楽などの方面には、同じように示すかたの子も中にはいますが、国語や社会はよくできるが、算数や理科のすべての教科が同じように、どの教科も中位、というようにすべての教科が中位、というようにすべての教科が

いうことを耳にします。そこで、どの教科も揃って、どの教科も中位、というようにすべての教科が同じように示すかたの子も中にはいますが、国語や社会はよくできるが、算数や理科の方面はできないこともあります。

また、その逆の子もいます。体育や図工や音楽などの方面には、同じように示すかたの子も中にはいますが、国語や社会はよくできるが、算数や理科の方面はできないこともあります。

秋の婚礼予約受け付け中

休日の吉日は早めにお申し込みを

貸衣しょう	タキシード等安い料金で衣しょう部を開いている。
写真撮影	平塚市写真師会の協力で記念撮影もできる。ご利用を。
着付け	市内の美容師がセンターに出向きお世話する。

◎市民センター　事務局　電話（32）2235

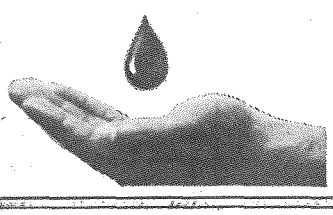
受付・9時～16時30分　休館日毎週月曜日・祝祭日の翌日

愛の献血

◇巡回日程…4月24日（日）10時～15時金田公民館（金田地区自治会）／4月27日（水）、5月10日（火）、11日（水）日産車体

◇◇◇ご協力ありがとうございました◇◇◇

高砂香料60本、構内地区自治会99本、岡崎地区自治会94本、全電通175本。



ひらつかの自然

19

私たちの住む土地はいつごろどのようにしてできたのでしょうか。自然に触れながらその生いたちを考えてみましょう。

上ノ入遺跡から発掘された配石遺構

発掘された石のふるさと

博物館の展示室には、市内岡崎にある岡崎小学校内の上ノ入（かみのいり）遺跡から発掘された「配石遺構」と呼ばれる石を積み重ねた遺構が復元して展示してあります。これは縄文時代後期（約4000年前）の墓地ではないかと考えられています。また、同じ遺跡からは同時代の石を敷きつめた住居跡も発見され、それは博物館の屋外に展示してあります。

これらに用いられている石は、角ばった偏平な石で、総計1.4トンにも達し、信州から採れる鉄平石に似ています。この種の石は近隣では求められず、それは箱根の山ろくの小田原市根府川に見ることができます。この石は「根府川石」と呼ばれ、根府川西方の白糸川中流付近より流出した輝石安山岩の溶岩で、箱根火山を作る古期外輪山溶岩の一部なのです。

縄文時代の人々は、なぜそんな遠い所から石を運ばなければならなかったのでしょうか？敷石住居の中には、現在の相模川にごく普通に見られる川原石を敷きつめた住居も上ノ入遺跡で発掘されており、わざわざ遠くから石を運んだ理由は謎に秘められています。今後同様な遺跡が近隣でみつかればどんな経路でその石が運ばれたのか明らかにされるでしょう。

また、市内上吉沢にある八塚古墳も、同様に石を運んで作ったものです。それは7世紀後半に作られたものですが、現在でも台地上にこんもりとした高まりがいくつも残されています。

この古墳の石材には直径1m以上に達する岩石が用いられています。台地上にはこの様な石は全く見られませんが、この石の供給地は近くにある鷹取山周辺と考えられます。そこには鷹取山層と呼ばれる安山岩や丹沢山塊から運ばれた緑石凝灰岩（ぎょうかいがん）のレキからなるレキ岩層が見られます。八塚古墳の石材は、このレキ岩層が風化して、レキだけが谷などにころがっていたものを運んできたものと思われます。しかし距離的には1kmほどの所でも1m以上もの大きな石を運ぶことは大変なことだったでありましょう。

※お尋ねは博物館（33―5111）へ